

競 技 注 意 事 項

本大会は、２０２６年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項によっておこなう。

１ 練習について

練習は、主競技場、補助競技場、および雨天練習場を原則とする。

① 主競技場の使用について

ア 利用時間は、開場から競技開始３０分前までとする。

イ トラックのみ利用を認める、ただし、競技の準備を優先とする。

ウ ハードル等の道具を利用した練習はできない。

② 補助競技場の使用について

ア ミニハードルやメディシンボール、ラダー等、競技場備え付けの用具以外は使用禁止とする。

イ トラック外側の砲丸投ピットで砲丸投の練習を行うことができる。その際は、係員の指示によって行う。なお、練習用の砲丸は、各団体が準備する。

ウ レーンの使用については以下の通りとする。

- ・ １～２レーンは、周回練習のみとする。（ペースの遅いジョグや集団走はしない）
- ・ ３～６レーンは、短距離練習のみとする。
- ・ ブロックを使用したスタート練習ができるレーンの割り当て及び使用可能な時間帯については、下記を参照すること。
- ・ １００ｍ・１００ｍＨ・１１０ｍＨのスタート練習は、多目的広場側直走路のみ使用することができる。
- ・ ２００ｍ・４００ｍ・４×１００ｍＲのスタート練習は第１曲走路のみ使用することができる。直走路には侵入しないこと。
- ・ リレーの練習は、下記の時間帯で指定されたレーンを使用すること。また、その際は、周囲の安全に十分留意すること。**下記の時間帯以外は第４コーナー付近を使用しないこと。**

<スタート練習・ハードル練習ができるレーンの割り当ておよび使用可能な時間帯>

	種 目	～10:00	10:00～14:50	14:50～16:30
１日目 6/27 (土)	４００ｍ	３～６レーン	５・６レーン	
	１００ｍ		５～９レーン	７～９レーン
	１００ｍＨ	７・８レーン	１０レーン	１０レーン
	１１０ｍＨ	１０・１１レーン	１１レーン	１１レーン
	リレー			３～６レーン

	種 目	～10:00	10:00～12:00	12:00～13:30
２日目 6/28 (日)	２００ｍ	３～６レーン	３～６レーン	５・６レーン
	４００ｍ		３～６レーン	５・６レーン
	１００ｍＨ	５～７レーン	６・７レーン	
	１１０ｍＨ	９～１１レーン	９・１０レーン	
	リレー			３～６レーン

③ 雨天練習場の使用について

ア 雨天練習場へは第２ゲート側の入口より入場すること。第３ゲート側からの出入りは禁止する。

イ ピストルの使用は禁止する。

ウ ハードル、スターティングブロックは使用できない。

エ ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。それ以外は補助競技場で行うこと。

オ ウォーキング・ジョギング等は左回りとし、逆走はしないこと。

カ シート等を敷いて独占的な使用は絶対にしないこと。

④ 棒高跳の練習について

競技開始80分前から現地にて練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がでないように、審判員の指示に従うこと。

⑤ 投てき練習について

男女円盤投については、招集完了後、主競技場円盤投サークルに移動して練習を行うことができる。その際は、審判員の指示に従うこと。なお、補助競技場を利用しての投てき練習は禁止とする。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

3 アスリートビブスについて

① アスリートビブスは指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。

② トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。競技終了後、必ず係員に返却すること。

③ 男子共通3000mについては、別ナンバーカードを招集所にて配布する。

4 選手招集について

① 選手招集場所は第2ゲート付近（バックスタンド内）とする。ただし、男女共通棒高跳は現地で招集を行う。

② 競技時間に記載されてある招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。参加人数の多い種目については、段階的に招集を行う。

③ 招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。なお、招集所で点呼を取らず、直接現地に来た場合も同様に失格とする。

④ リレーオーダー用紙は、その種目の1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係まで提出すること。リレーオーダー用紙は選手招集場所で配布する。

リレーオーダー用紙提出完了時刻 **【予選】女子 15 : 05 男子 15 : 30**

【決勝】女子 12 : 25 男子 12 : 35

※一度オーダー用紙を提出したら、その後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員が判断し、許可を得ること。この場合、該当選手の入れ替えを行うだけで、走順を変更することはできない。

⑤ 2種目を同時に出場する選手は、あらかじめ競技者係に申し出ること。2種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。

5 競技について

① 競技順は、プログラム記載の番号順とする。

② 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝の走路順については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を大型映像で表示する。

③ トラック競技は全て写真判定装置を使用する。

④ トラック競技で同記録者が出た場合は、写真判定主任が判定写真を拡大して細部（電気時計 1/1000）まで読み取り進出者を決める。その結果、記録差がないときは、レー

ンに余裕があれば同記録者が次のラウンドに進出できるようにする。それが不可能なときは、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行って進出者を決める。

- ⑤ レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンは空ける。
- ⑥ トラック競技のスタート合図は英語とする。
- ⑦ 各レースでの不正スタートは1回目から全て失格とする。
(※ただし、四種競技はTR16.8を適用する)
- ⑧ 短距離走では、選手の安全のため決勝線到着後も、自分に割り当てられた走路（曲走路）を走ること。
- ⑨ リレー競技のマーカーは、各チームが用意した物を1カ所使用することができる。使用したマーカーはそのチームで処理する。
- ⑩ トラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名が決勝に進出することができる。ただし、男女1500mについては、予選タイムの上位16名が決勝に進出することができる。
- ⑪ 男子共通3000mは、参加人数が少ないため1日目に決勝を実施する。
- ⑫ 競技場内での跳躍・投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- ⑬ その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ⑭ 選手は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で選手に手渡して映像を見せることができる。選手が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、**メインスタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止**とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから退出すること。

6 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。個人所有の棒高跳用ポールの検査は最終点呼時に跳躍審判員が行う。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んで서는ならない。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

		練習							以降
走高跳	男子	140	145	150	155	160	165	170	3cm 刻み
	男混	135	140	143	146	149	152	155	3cm 刻み
	女子	125	130	135	140	145	148	151	3cm 刻み
	女混	115	120	123	126	129	132	135	3cm 刻み
棒高跳	男子	240	251	271	291	301	311	321	10cm 刻み
	女子	190	201	221	241	251	261	271	10cm 刻み

※第1位決定のために行うバーの上げ下げは、走高跳2cm単位、棒高跳5cm単位とする。

8 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

- ・第1ゲート：第1・2コーナー付近からスタートするトラック競技
- ・第2ゲート：棒高跳・投てき競技
- ・第3ゲート：走高跳
- ・第4ゲート：第3・4コーナー付近からスタートするトラック競技および走幅跳

9 表彰について

- ① 各種目（個人・リレー：1～8位）の入賞者に賞状を授与する。
- ② 表彰式は実施しない。賞状は、競技場1階中央エントランスホールに置いてあるので、各自で取りに来ること。

10 その他

- ① やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず申し出ること。
- ② 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が生じた場合は、メインスタンド下の医務室に連絡すること。
- ③ 参加の拒否（TR4.4.2）については適用しない。
- ④ 記録は、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報は愛媛陸協HPから確認することができる。
- ⑤ 監督会議は実施しない。各チーム監督連絡事項を確認しておくこと。
- ⑥ 本大会において全日中参加標準記録を突破した者は、第53回全日本中学陸上競技選手権大会に出場できる。
- ⑦ 競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR

2026年度 第53回全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録

男 子（13種目）		女 子（10種目）	
種 目	標 準 記 録	種 目	標 準 記 録
100m	11秒05	100m	12秒40
200m	22秒50	200m	25秒80
400m	51秒00		
800m	1分59秒00	800m	2分15秒50
1500m	4分06秒50	1500m	4分38秒00
3000m	8分55秒50		
110mH	14秒60	100mH	14秒50
走 高 跳	1m86	走 高 跳	1m60
棒 高 跳	4m00		
走 幅 跳	6m60	走 幅 跳	5m40
砲 丸 投	13m40	砲 丸 投	12m50
四 種 競 技	2580点	四 種 競 技	2650点
4×100mR	各都道府県1チーム	4×100mR	各都道府県1チーム

【男女リレー種目の全日中愛媛県代表チームの選考について】

- 1 全日本中学校通信陸上愛媛県大会（以下通信陸上）と愛媛県中学校総合体育大会（以下県総体）との2大会とも優勝したチームを県代表とする。
- 2 通信陸上と県総体の2大会で優勝チームが分かれた場合は、それぞれの大会での決勝レースの記録の良いチームを県代表とする。
- 3 2のケースでも同タイムの場合は、予選レースでの記録を比較し記録の良いチームを県代表とする。
- 4 3のケースでも同タイムの場合は、県総体閉会式終了後、代表決定レースを行いこのレースに勝ったチームを県代表とする。